

報道各社御中 環境省広報室

秋田県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急  
調査チームによる調査の結果続報について  
(H28.12.16 17:00)

秋田県秋田市の飼育施設で11月15日に死亡したコクチョウから、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、11月22日(火)から25日(金)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況、飼育施設内外の採水などの調査を実施しました(調査結果速報については11月25日公表済)。このたび、検査中であった環境試料について、結果が出ましたので、お知らせいたします。(同じく検査中であった、生存している動物(タンチョウ1羽、ニホンイヌワシ1羽、マナヅル1羽、ワオキツネザル2頭)については、12月2日18:00に、すべて陰性であった旨公表済。また、No.10、No.34と同室で飼育され、23日に殺処分されたシロフクロウについては、確定検査の結果陽性であった旨、12月12日に公表済(No.66) )

1 検査検体

発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内において、飼育施設内外の計6地点において環境試料(池の水等)を採取。

(参考)

環境試料 6地点で9検体を採水、糞便5検体\*1検体につき1個の糞を採取

2 検査結果

1について鳥取大学にて確定検査を行ったところ、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されませんでした。

3 今後の対応

野鳥監視重点区域において、秋田県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成28年12月16日(金)

自然環境局総務課動物愛護管理室

代 表：03 - 3581 - 3351

直 通：03 - 5521 - 8331

室 長：則久 雅司(内線6651)

室長補佐：徳田 裕之(内線6652)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03 - 5521 - 8285

代 表：03 - 3581 - 3351

企 画 官：東岡 礼治(内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子(内線6676)

東北地方環境事務所野生生物課

直 通：022-722-2876

課長補佐：西野 雄一

自然保護官：木村 慈延